



夢を発見し実現できる学校

ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

修学旅行

日本列島を例年になく大寒波が襲い、同じく例年になくインフルエンザの大流行が猛威を振るう中、小雪舞う神河町から、南国の沖縄・伊平屋島への4泊5日の修学旅行に行つて参りました。



1日目 南部戦跡 平和学習

平和学習には、事前に沖縄の歴史について琉球王国時代にさかのぼり、薩摩藩の侵攻、ソテツ地獄、沖縄戦、米軍統治を経ての本土復帰、そして現在も続く基地問題まで学習して、臨みました。



生徒たちは、「ひめゆり平和祈念資料館」で千羽鶴を奉納し、自分たちと同世代の女子学生が73年前の戦争で亡くなった事実を重く受け止めました。次に訪れた轟壕は、自然にできた壕（現地の言葉でガマ）で米軍から逃れた住民が数多く犠牲になった場所です。地下30mの暗闇の中に身を置き、平和ガイドの話聞きながら、戦争の悲惨さ、平和の大切さ、命の尊さを学びました。



2日目 伊平屋島到着

2日目、伊平屋島に向けて出発です。伊平屋島は沖縄県最北端の離島で、「照り輝く美しい島」を表す「てるしの島」ともよばれます。この日はあいにくの曇天、フェリーも随分揺れましたが、島の方々の温かい歓迎を受け、2泊3日の民泊がスタート!

3日目 民泊体験

夜半からの強風がやまず、マリン体験は4日目に延期。今日は民家で家業体験です。アースー(アオサ)収穫、稲の苗床作り、サトウキビ刈り、貝殻細工、サーターアングー(サトウ)作り、畜産体験、琉装体験、三線体験等々、島の観光にも連れていってもらいました。



サプライズ! パーベキュー!

実は生徒に内緒で民家さんと打合せで、夕食は島尻地区の公民館でパーベキューを行いました。外食をしようと連れ出された生徒たちはびっくり。歌あり、踊りありの楽しい時間を過ごしました。

4日目 マリン体験

今朝は昨日と一転、青空が見え、最高のマリン体験日和です。インストラクターの指導の下、シユノーケリング、バナナボート、シーカヤック、魚釣り、貝殻細工の班に分かれて体験を実施しました。修学旅行中最高の晴れ間で、伊平屋の海の綺麗さに感激です。



ちょっと一言 ◇今号と次号は、42回生の修学旅行特集として紙面を組ませて頂いています。極寒の神河町を発って沖縄に行けば、南国の雰囲気を楽しめるかと思っていたところ、今年の沖縄は現地の方も「寒い、寒い」と連呼される程の天候でした。しかし、生徒たちは不順な天候にも負けず、平和学習も民泊体験も、そしてマリン体験もすべて真剣に満面の笑みで取り組んでくれました。沖縄及び伊平屋島での体験を糧に、これからも地に足を付けて歩いていっていただければと思っています。(H. H.)